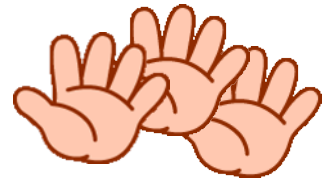


# テトテトテトテテ



校長だより 令和5年3月31日 NO. 10

## つながりは幸せのもと



春の陽気に誘われ、学校周辺を歩いてみました。この写真は、学校から見える佐陀川土手の桜並木です。15年ほど前、本校の児童が地域の方と一緒に植樹した30本余りの桜が今年も満開となりました。松江ろう学校と地域とのつながりを象徴する桜並木は、松ろうの魅力の一つです。子どもたちに語り継ぎ、大切にしていきたい桜並木です。

4月に本校に赴任し、子どもたちの命と人権を守ることをお約束して、学校生活がスタートしました。子どもたちが安心・安全に過ごせる学校、子どもたちが好奇心をもって生き生きと学ぶことができる学校づくりに努めて参りました。本日、無事、令和4年度を終えることができ安堵しているところです。

保護者の皆様、地域の皆様、卒業生の皆様には、この1年間、本校の教育活動に対し、多大なるご支援を賜りました。また、感染症予防対策についても、ご理解とご協力をいただきました。心より深く感謝申し上げます。

今回のテーマ「つながりは幸せのもと」は、山陰中央新報「談論風発」(3/12)に掲載された島根県教育魅力化特命官 岩本悠(いわもと・ゆう)氏の「しまねの幸福論」にあった言葉です。「人とのつながりに基づく協調的、協働的な要素こそが『持続可能な幸せ』のための重要な基盤であり、これから(しまねが)世界にも発信していける魅力なのだから。」と述べておられます。ぜひ、これを実践していきたいと思えます。

人とのつながり、地域とのつながりを基盤に、子どもたちの学びと育ちを保障し、子どもたちが「幸せ」を感じられるよう、学校経営を行っていきます。引き続き「手と心でつながる わかりあえる喜び ~笑顔あふれる松ろう~」をよろしく願います。